

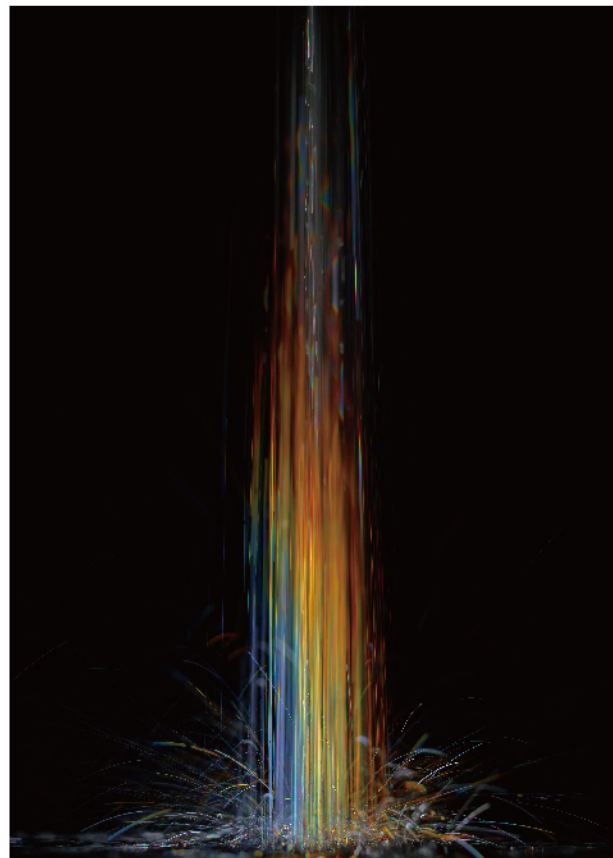
## 丸山晋一（まるやましんいち）

テクノロジーを活用して、肉眼では見えない、儚い隠れた美を発見し、捉えたいと考えています。

長野で生まれ育ち、好きな被写体にカメラを向けて楽しんでいました。東京や海外でさまざまな仕事をしてきましたが、今は撮りたいと思う被写体を模索中です。それはまるで原点に戻っていくようです。

（丸山）

1968年、長野県生まれ。千葉大学工学部画像工学科卒業。2001年、インド最北部の高地を3年にわたって訪れて撮影した写真集「SPITI.」を刊行。写真展「SPITI.」開催（ギャラリー・ロケット / 東京）。2003年、ニューヨークへ移住。07年、「125 Magazine 日本展」出品（ポール・スミス・スペースギャラリー / 東京）。09年、写真展「KUSHO」（ザ・ブルース・シルベスタイン・ギャラリー / NY）を開催し、写真集「空書 / KUSHO」刊行。ニュージーランド在住。



《Light sculpture#20》2018年